

『メディカルサポート × SDGs』

ー 生涯スポーツを支援する 2023 ー』



キーワード

メディカルサポートSDGs、生涯スポーツ、健康維持・増進、ボランティア活動、教育

○取り組んだきっかけ

私たちの身体と心の健康を保つためには、個人に合った適度な「運動」、「栄養・食生活」、疲労回復と充実した人生を目指す「休養」が必要です（厚生労働省、2007）。私たちは、この健康づくりの三要素の中で医療の立場から運動を中心とした身体活動より得られる疾病予防と生きがいに着目してきました。



○具体的な内容

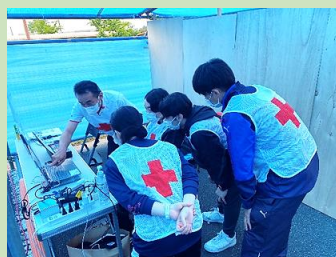
静岡県内で開催されるスポーツイベントの企画・運営の補助、チームサポートを2010年より参画しています。この支援活動は、対象年齢を幼児から高齢者までとし、競技レベルは一般からプロフェッショナルレベルまでを対象としています。競技はサッカー、バスケットボール、バレーボール、マラソン、トレイルランニングなど多岐にわたります。活動内容は参加者へのテーピング、ストレッチやマッサージなどのコンディショニング、応急処置を主体とする救急対応、運動指導などの健康支援です。参加する学生は、企画・運営補助の他、フィールドでの理学療法士やスポーツトレーナーの補助として活動しています。その一部として静岡県シニアサッカーフェスティバルで自記式アンケート調査と選手ケア活動の検証を行っています¹⁾。ボランティア活動による学生教育については、対象学生の活動参加前後における学習意欲等に関するヒアリングと学内での成績変化を検証しています。

○活動の目的

生涯スポーツの実施が健康維持・増進の一助となることは、多くの研究より支持されています。こうした背景を基に、私たちはスポーツイベント参加者の健康維持・増進を医療職として支援することを活動の目的としています。そして、この活動は健康科学部の卒業生・在学生と共に実践し、①参加者の健康状態調査、②ボランティア活動による学生教育の成果について検証しています。

○期待される効果

生涯スポーツを実施されている方は、生活習慣病などが少ないことが予測され、競技によっては外傷などが多いことが推察されます。この結果の理解により、生涯スポーツの利点と欠点が抽出され、健康増進の方策だけでなく、欠点対策の検証の一助となることが考えられます¹⁾。さらに、当ボランティア活動に参加する学生は、対象者の身体能力に関する理解に加え、大規模イベントのメディカルサポートについて実践教育が得られています。そして、このメディカルサポートSDGsの最も期待される効果は、参加学生の人間力の成長であり、その成長が地域貢献に繋がることです。



【論文】 1) シニアサッカー選手と一般住民の健康状態の比較. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2023 ; 31(2) : 305-314.

メディカルサポートSDGs : 「生涯スポーツ」のもつ多角的な健康への効果を

“メディカルサポート”により活性化し、本邦の健康維持・増進に寄与すること

教員名: 栗田 泰成 (Yasunari KURITA)

所属学部・学科: 健康科学部

・静岡理学療法学科

職位: 准教授



○ 連携先:

浜松医科大学健康社会医学講座、清水エスパルス、常葉大学リハビリテーション病院、静岡県サッカー協会、静岡県シニアサッカー委員会、静岡マラソン実行委員会、エフエムしみず、静岡社会健康医学大学院大学 など